

加熱式加湿器

SHM-260R1 / SHM-120R1

取扱説明書



※ イラストはすべてSHM-260R1

保証書付

このたびは、お買い上げいただきまことにありがとうございます。

- この取扱説明書をよくお読みになり、正しくお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
- 「保証書」は「お買い上げ日」「販売店名」の記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。
- この取扱説明書はお使いになる方がいつでも見ることができるよう大切に保管してください。

この商品は海外ではご使用になれません。
FOR USE IN JAPAN ONLY

アイリスオーヤマ株式会社 〒980-8510 仙台市青葉区五橋2丁目12番1号
ホームページ <http://www.irisohyama.co.jp/>

製品に関するお問い合わせは

アイリスコール (通話料無料)

0120-311-564

修理に関するお問い合わせは

修理専用コール (通話料無料)

0800-170-7070

受付時間 平日 9:00～17:00、土・日・祝日 9:00～12:00 / 13:00～17:00
(年末年始・夏期休業期間・会社都合による休日を除く)

FAX でのお問い合わせは (通信料無料)

0800-888-2600

Web からの問い合わせは

<https://www.irisohyama.co.jp/support/>
メールフォームにご記入のうえ送信してください

安全上の注意

最初に、この「安全上の注意」をよく読んでいただき、正しく使用してください。人への危害や、財産への損害を未然に防止するため、必ず守る必要があることを説明しています。

図記号の意味



注意を促す記号です。



禁止を示す記号です。



必ず行うことを示す記号です。



警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



分解禁止

● 分解・修理・改造をしない

火災・感電・けがの原因になります。

修理技術者以外の方が修理を行うことは危険です。修理については、お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。



水ぬれ禁止

● 水まわり、風呂場など湿気のある場所では絶対に使用しない

● 本体を水につけたり、本体に水をかけない

発火・感電の原因になります。



● 異常・故障時には、ただちに使用を中止し、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く

発煙・発火・感電のおそれがあります。

【異常の例】

- 異常な音やにおいがする
 - 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなる
 - 電源コードを動かすと、通電したりしなかったりする
 - 運転中時々止まる
 - 触れるとピリピリ電気になる
- ▶ 使用を中止し、お買い上げの販売店またはアイリスコールへお問い合わせください。



● 屋外では使用しない

故障してショートや発火の原因になります。

安全上の注意 つづき

電源プラグ・電源コードは正しく使う



- 電源プラグのほこりは定期的にとる
ほこりがたまると、湿気などで絶縁不良になり、火災・感電の原因になります。
- 電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
ショートによる発火・感電の原因になります。



プラグを抜く

- お手入れや点検、移動の際は、必ず電源プラグをコンセントから抜く
感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

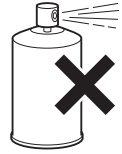
- ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしない
感電・やけど・けがの原因になります。



- 交流100V以外では使わない
発火・火災の原因になります。
- 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使わない
ショートによる発火・感電の原因になります。
- 電源コードを傷つけない
傷つける、加工する、無理に曲げる、引っ張る、ねじる、重いものを載せる、挟み込むなどしないでください。
電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。
- 電源コードをたばねて通電しない
火災の原因になります。
- 持ち運び時や収納時に電源コードを引っ張らない
火災・感電の原因になります。
- 電源プラグの抜き差しによる運転や停止をしない
運転や停止は必ず本体の電源スイッチを使用してください。火災・感電の原因になります。



- スプレーをかけない（殺虫剤・整髪料・潤滑油など）
- 引火性のもの（灯油・ガソリン・シンナーなど）、火の気のあるもの（たばこ・線香など）、可燃性のもののそばで使わない
- 油煙の舞う場所や近くで使用しない
発火・火災の原因になります。



- 蒸気口やすき間に指、手や金属などの異物を入れない
感電やけがの原因になります。

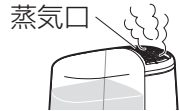


- 蒸気口キャップ・安全カバー等を外したまま運転しない
やけど・けがの原因になります。



接触禁止

- 蒸気口に手や顔を近づけない
やけどのおそれがあります。
特に乳幼児には注意してください。



- 子供など取り扱いに不慣れな方だけで使わせたり、幼児に触れさせたりしない
けがや感電のおそれがあります。



注意

誤った取り扱いをすると、人がけがをしたり、物的損害が発生するおそれがある内容を示しています。



火気禁止

- 火気・暖房器具などに近づけない
- 可燃性のものや火のついたたばこ・線香などを近づけない
発火・火災の原因になります。



- 製品の上に乗ったり、寄りかかったり、ものを置いたりしない
転倒によるけがや火災の原因になります。



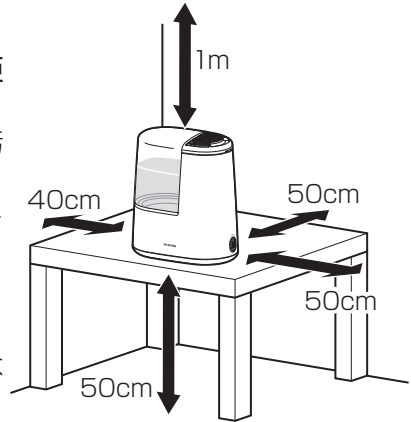
- 水タンク・加湿筒・安全カバー・蒸気口キャップを正しく取り付ける
- 水タンクの取り付け・取り外しは、必ず運転を停止してから行う
水もれや周囲の汚損の原因になります。



- 蒸気口をふさがない
蒸気口をタオルやカーテンでふさがないでください。水もれや過熱の原因になります。



- 蒸気が、家具や壁、カーテン、電気製品などに直接当たらないところに設置する
- 設置の際は、カーテン・壁・家具などから、図に示す距離を離す
家具や壁、カーテンなどの汚損の原因になります。また、電気製品に結露したり水のミネラル分が付着したりすると、電気製品の故障の原因になります。
蒸気口は、家具や壁、カーテン、電気製品などの方向へ向けないでください。



- 水平で安定した台の上で使用する
毛足の長いカーペットやふとんなどの上に設置すると、転倒してけがをしたり水もれしたりするおそれがあります。
また、床ぬれのおそれがありますので、必ず台の上に設置してください。



- 暖房機・テレビ・ホットカーペットなど電気製品の上で使用しない
転倒すると水がこぼれ、火災や電気製品の故障の原因になります。

水タンクの水について



● 毎日新しいものに取り替える

水タンクは毎日振り洗いし、常に清潔にしてください。古い水を使用すると、異臭を発生したり健康を害する原因になります。

● 1週間以上使用しない場合は、必ず水タンクおよび本体内の水を捨てる

水が入ったまま放置すると、異臭や周囲の空気の汚れの原因になります。

● 凍結しそうなときは、水タンクおよび本体内の水を捨てる

凍結すると、故障・水もれにより周囲の汚損の原因になります。



● 水道水以外は使用しない

40℃以上の水・化学薬品・芳香剤（アロマオイルなど）・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水もれや周囲の汚損の原因になります。



プラグを抜く

● 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず電源プラグを持って引き抜く

電源コードが破損し、発火・感電の原因になります。

● 長期間使わないときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く

絶縁低下により、火災・感電の原因になります。



● 移動するときは、本体を持つ

水タンクや蒸気口キャップを持つと、外れて落下するおそれがあります。また、水タンクが外れると水もれのおそれがあります。

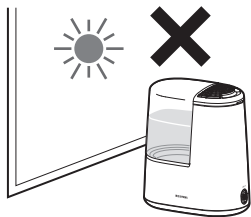


● 移動やお手入れは電源を切り、内部が冷えてから行う

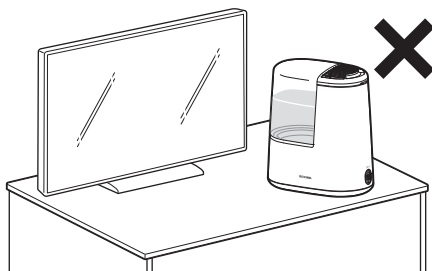
本体内の水は加熱されているので、やけどやけがのおそれがあります。十分に冷えるまで本体や内部の部品に触れないでください。

使用上の注意

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近くで使用しない
変形・変色したり、リセットボタンが誤動作することがあります。



- ラジオやテレビに近づけない
ラジオやテレビにノイズが入る場合があります。



- ベンジンやシンナーで拭いたりしない
破損・故障の原因になります。

- 蒸気口キャップ・安全カバー・アロマトレー等を外したまま運転しないでください。
やけど・けがの原因になります。

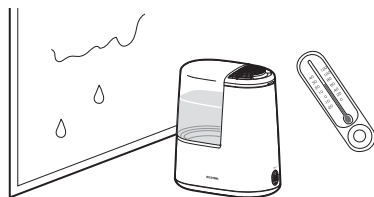
- スピーカーやIH調理器（電磁調理器）など磁気の出る機器の近くには置かない
正常に動作しないことがあります。

使用環境について

- 室温5～35℃で使用してください。
室温が低いと床ぬれや結露がおこりやすくなります。
また、窓際や冷気の影響を受けやすい壁などは、定期的に結露を拭き取るなどして使用してください。

- 加湿のしすぎによる床ぬれや結露に注意してください。

本製品は自動で加湿を調節できません。部屋の環境に合わせながら、こまめに電源をON・OFFしてください。

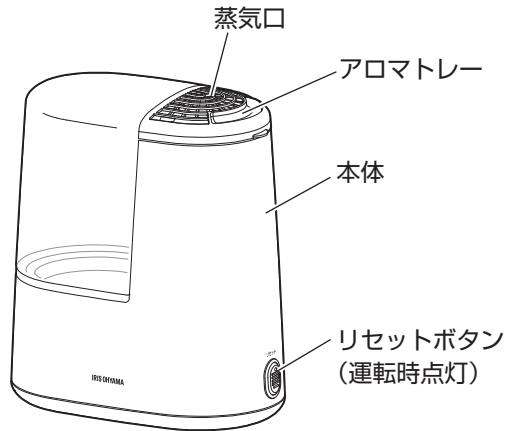


廃棄について

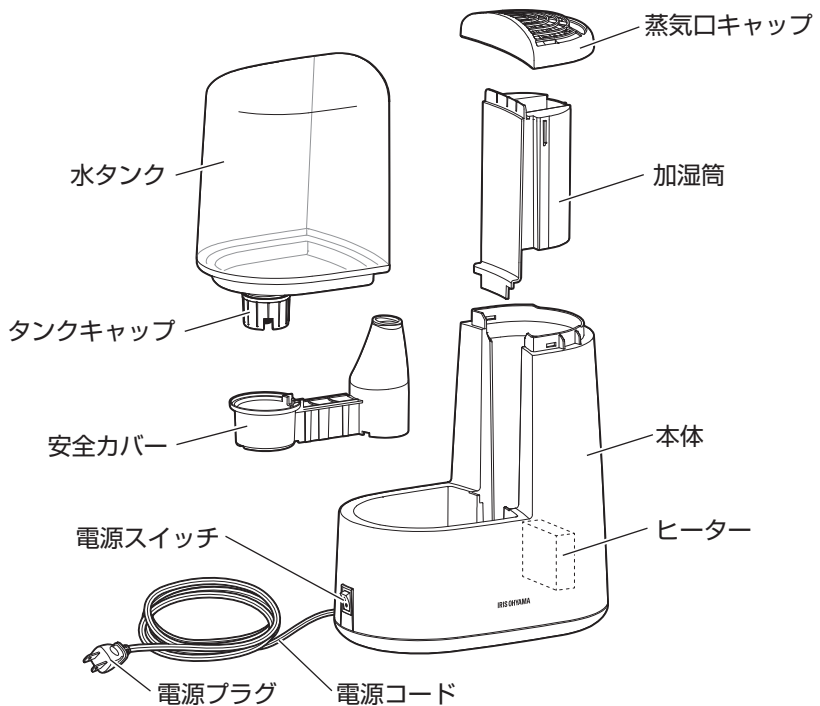
- 製品や梱包材の廃棄については、お住まいの自治体の取り決めにしたがって処理してください。

各部の名称

■ 正面



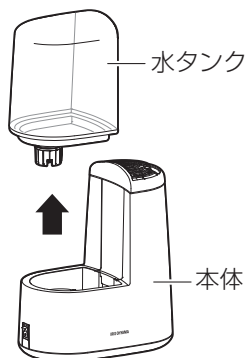
■ 部品



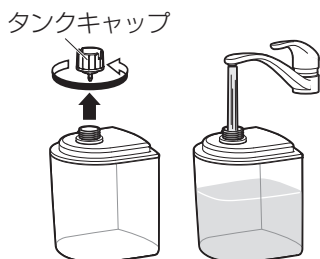
お使いになる前に

■ 水タンクに水を入れる

1 本体から水タンクを外す



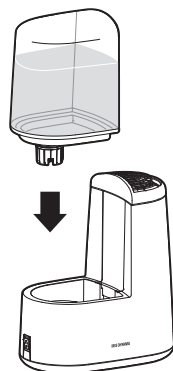
2 タンクキャップを外し、水道水を水タンクに入れる



- 水タンクを持ち運ぶときは、水がこぼれて周囲を汚損することがないように、注意してください。また、水タンク外側についた水滴は拭き取ってください。
- 水タンクは、必ず本体内の水を捨ててから取り付けてください。水があふれて周囲を汚損する原因になります。

3 タンクキャップをしっかりと閉め、水タンクを本体にセットする

※ 水タンクをセットするときは上から落とさないで、ゆっくりセットしてください。破損の原因になります。

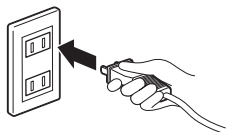


注意

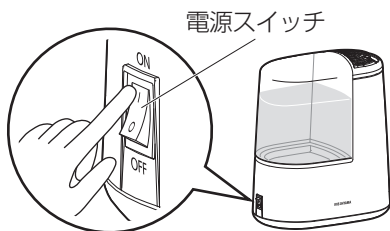
- 必ず水道水を使用してください。40℃以上の水・汚れた水・ミネラルウォーター・アルカリイオン水・井戸水・浄水器の水などは使用しないでください。
- 水に薬品・香料・精油などを入れないでください。かびや雑菌が繁殖しやすくなったり、変形・ひび割れ・変色などをおこして水もれや周囲の汚損の原因になります。
- タンクキャップは確実に閉めてください。タンクキャップがななめになっていたりゆるんでいたりとすると、水がこぼれて本体が故障したり周囲を汚損する原因になります。

使いかた

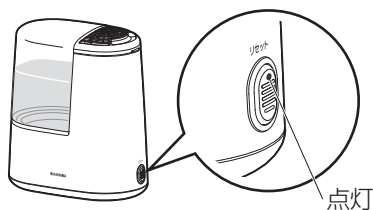
1 電源プラグをコンセントに差し込む



2 電源スイッチをONにする

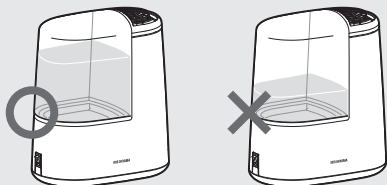


- ・リセットボタンのランプが点灯します。
- ※ 運転を開始してから、しばらくすると蒸気が出始めます。



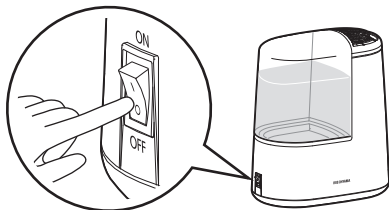
注意

- 電源スイッチは、必ず水タンクの水量が半分以上でONにしてください。水タンク内の空気が膨張して、水があふれることがあります。



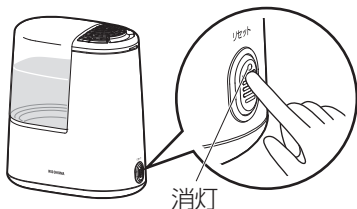
■ 停止するには

- ・電源スイッチをOFFにしてください。



■ タンクの水がなくなると

- ・リセットボタンのランプが消灯して運転を停止します。
- ・水タンクに給水し本体にセットしてから、リセットボタンを押し込むとランプが点灯し、運転を再開します。(給水については「お使いになる前に」参照)
- ・リセットボタンを押してもランプが点灯しないときは、しばらくお待ちください。内部の冷却が不完全で、安全装置が働いているためです。



- ※ カチッとなるまで確実に押し込んでください。
- ※ 運転が再開してから、しばらくすると蒸気が出始めます。

使いかた つづき

■ アロマトレーの使いかた

- アロマトレーに市販のアロマオイルを滴下することで、室内にアロマの香りを広げることができます。



注意

- アロマオイルを滴下するときは、必ず電源を切って蒸気口キャップが冷えてから行ってください。
- 水タンクや本体にアロマオイルを入れないでください。
- アロマオイルが本体や水タンクなどに付着しないように注意してください。製品が変形・故障して水もれなどの原因になります。

※通常、2～3滴で十分な量です。アロマトレーからあふれないように注意してください。

※水滴が入るなどしてあふれそうになったときは、すぐにアロマオイルを捨ててください。

アロマオイルについては、以下の注意を守って使用してください。



警告

- 妊娠中の女性・乳幼児・身体の弱い方などがある場合は、使用量・使用方法に注意する
- 子供の手の届かないところに保管する



注意

- 火気に近づけない
- 衣服などについた場合は、流水でよく洗い、自然乾燥させる
- 乾燥機は使用しない
発火のおそれがあります。
- 手や身体についた場合は直ちに洗い流す
- アロマオイルに記載の使用上の注意事項を守る

お手入れ

- お手入れは、必ず電源を切って、電源コードを抜き、十分に冷えてから行ってください。
- シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性の強い洗剤、漂白剤などは使用しないでください。
- 汚れが落ちにくい場合は、薄めた台所用中性洗剤を使用してください。洗った後は、洗剤分が残らないようにしっかりすすいでください。

■ 水タンク 毎日

- ・ 水タンクに少量の水を入れ、タンクキャップを閉めて振り洗いしてください。

※ 使用した水は捨ててください



■ アロマトレイ 使用後毎回

- ・ 本体から取り外し、水洗いして十分に乾燥させてください。



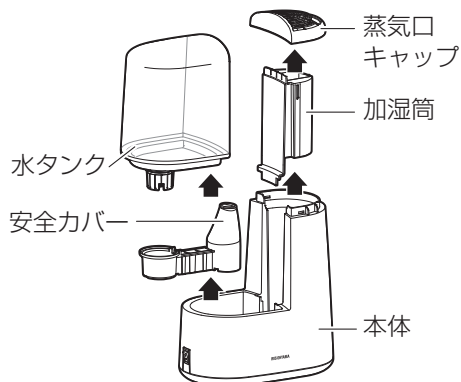
■ 本体 2週間に1回



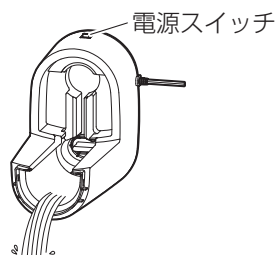
注意

- 電源コードは濡れた手で抜き差ししないでください。
- 本体は水洗いしないでください。

1 本体から水タンク・蒸気口キャップ・加湿筒・安全カバーを外す



2 本体に残っている水を捨てる

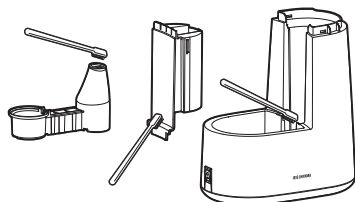


※ 電源スイッチなどから内部に水が入らないように注意してください。

3 やわらかい布で拭く



4 硬めのブラシなどで、加湿筒・安全カバー・本体内側（ヒーター付近）にこびりついた汚れを落とす



■ ヒーター 2週間に1回

使用にともない、水の中に含まれるミネラル分が濃縮されてヒーターに付着します。固まると、加湿量が低下したり、ヒーターの温度が上がりすぎて安全装置が働いてしまうなどの原因になります。

1 本体から水タンクを外し、本体に残っている水を排水する

2 5%のクエン酸水溶液を作る

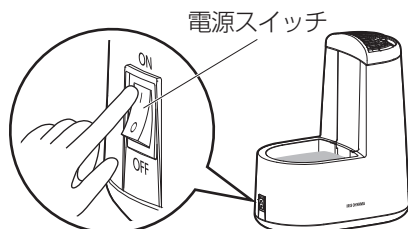
・以下の量の水溶液を作ってください。
※クエン酸は、薬局・ドラッグストアなどで市販されているものをご用意ください。

	水	クエン酸
SHM-260R1	300CC	16g
SHM-120R1	150CC	8g

3 作ったクエン酸水溶液を本体に注入する



4 電源スイッチをONにし、約1時間運転する



※汚れが激しい場合は、1時間程度放置してから運転してください。

※歯ブラシなどでこすると効果的です。

※運転時間が長すぎると、溶解したものが再付着する場合があります。

5 クエン酸水溶液を捨て、水を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取る

・蒸気口キャップ・加湿筒・安全カバーを取り外し、ヒーター・本体内側・蒸気口キャップをよく拭いてください。取り外した蒸気口キャップ・安全カバーもよく拭いてください。



注意

● 使用した水溶液や本体内部は熱くなっているため、十分に冷えてから、排水やお手入れをしてください。

■ 保管のしかた

・水タンク・本体の水を捨ててよく乾かし、梱包箱かポリ袋に入れて、湿気の少ない場所で保管してください。

故障かな？と思ったら

使用中に異常が生じた場合は、修理を依頼される前に本書をよくお読みのうえ、以下の点を確認してください。

状態	考えられる原因	処置
加湿されない	● 電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていない	● 電源プラグをコンセントに確実に差し込んでください。
	● 電源スイッチがONになっていない	● 電源スイッチをONにしてください。
加湿されない (リセットボタンランプ消灯)	● 水タンクの水を使い切った	● 水タンクに給水してください。 (「お使いになる前に」参照)
給水しても加湿されない	● リセットボタンが押されていない	● リセットボタンを押して点灯させてください。
	● ヒーターが温まるまで時間がかかる	● 約5分お待ちください。
蒸気の出が少なくなった	● ヒーターが汚れている (ミネラル分が固着している)	● ヒーターをお手入れしてください。(「お手入れ」参照)
	● 蒸気口キャップ・加湿筒・安全カバー・水タンクなどがきちんとはまっていない	● 蒸気口キャップ・加湿筒・安全カバー・水タンクなどをきちんとはめてください。
湿度が上がらない	● 部屋が適用床面積より広すぎる	● 適用床面積以内で使用してください。
	● 窓やドアが開いている	● 窓やドアを閉めて使用してください。
においがする	● 本体や水タンク内部が汚れている	● 本体や水タンクをお手入れしてください。
	● 水が古くなっている	● 本体に残っている水を捨て、水を入れ替えてください。

それでも解決できないときは
お買い上げの販売店、またはアイリス
スコールへお問い合わせください。



警告

● ご自分での分解・修理・改造はしないでください。

仕様

品番	SHM-260R1	SHM-120R1
電源電圧	AC 100V	AC 100V
電源周波数	50 / 60Hz	50 / 60Hz
消費電力	210W	100W
加湿量*1	約260ml / h	約120ml / h
加湿時間	約9時間	約11時間
適用床面積	木造和室：約4畳 プレハブ洋室：約7畳	木造和室：約2畳 プレハブ洋室：約3畳
水タンク容量	約2.4L	約1.3L
製品寸法	幅150×奥行245×高さ280 mm (電源コード含まず)	幅118×奥行215×高さ228 mm (電源コード含まず)
製品質量	約1.2kg (水含まず)	約0.8kg (水含まず)

※ 商品の仕様は予告なく変更することがあります。

※1 加湿量は、室温20℃/湿度50%の場合の目安です。

保証とアフターサービス

必ずお読みください。

■ 保証書

お買い上げの際に、所定の事項が記入されている保証書をお買い上げの販売店より必ずお受け取りください。

保証書がないと、保証期間内でも代金を請求させていただく場合がありますので、大切に保管してください。

■ 保証期間

保証期間は、保証書に記載されています。

保証期間内に故障した場合は、保証規定にしたがって修理させていただきます。

■ 保証期間経過後の修理

お買い上げの販売店または修理専用コールにご相談ください。修理により製品の機能が維持できる場合は、ご希望により有料にて修理いたします。

■ 補修用性能部品の保有期間について

当社はこの製品の補修用性能部品の製造打ち切り後、5年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ アフターサービスについて

ご不明な点はお買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

加熱式加湿器 SHM-260R1 / SHM-120R1

保証書

本書は、お買い上げ日から下記期間内に故障が発生した場合に、下記の保証規定により無料修理を行うことをお約束するものです。

お買い上げ日 ※		保証期間	
年	月	日	お買い上げ日より：1年間
お客様	お名前		※販売店
	ご住所 〒		
	住所・店名		
電話 () -		電話 () -	

販売店様へ： ※印欄は必ず記入してお渡してください。

保証規定

- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で故障及び損傷した場合には、弊社が無料で修理または交換いたします。
- 保証期間内に、故障などによる無料修理をお受けになる場合には、お買い上げの販売店にて、保証書をご提示のうえ、修理をご依頼ください。
- 保証内容は本製品自体の無料修理に限ります。保証期間内においても、その他の保証はいたしかねます。
- ご転居や贈答品などで本保証書に記入してある販売店に修理をご依頼になれない場合には、アイリスコールにお問い合わせください。
- 保証期間内におきましても次の場合には有料修理になります。
 - 使用上の誤り、不当な修理、改造などによる故障及び損傷
 - お買い上げ後の落下などによる故障及び損傷
 - 火災、地震、その他の天災地変による故障及び損傷
 - 一般家庭用以外（たとえば業務用の長時間使用、車両・船舶への搭載など）に使用された場合の故障及び損傷
- お買い上げ後の移動、輸送または什器・備品などとの接触による故障及び損傷
- 本書の提示がない場合
- 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行しているもの（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはアイリスコールにお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間については、「保証とアフターサービス」をご覧ください。

長年ご使用の加湿器の点検を！

愛情点検



こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・電源コードが異常に熱くなったり、こげくさいにおいがする
- 本体に触れるとピリピリ電気を感じる
- 水もれする
- 運転中に異常な音がする
- 電源コードが傷ついている
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源を切って、コンセントから電源プラグを抜き、必ず販売店に点検を依頼してください。